

企画展「土の中のワンダーワールド」の紹介

開催期間：平成22年7月17日（土）～8月31日（火）

中 村 修 美

林の中を歩くと、梢を渡る鳥や花を訪れる虫たちに目を奪われたり、鳥のさえずりや虫の声に耳を傾けたりするでしょう。私たちの周りには、多くの生き物がいると感ずることが出来ます。

では、ちょっと道を外れて、林の中に入ってみましょう。そして、視線を自分の足下に向けてみてください。落ち葉を踏みしめていますが、生き物がいるように感じますか。実は私たちの足下の土の中には多様な生き物がいます。それもかなりの数です。ですが、土の中が多様な生き物の世界であることはあまり知られていません。

この展示では、私たちの身近にいながほとんど知られていない土の中の生き物、特に動物に焦点を当て、その多様性を見ていただくとともに、自然界の中での役割を紹介します。

土の中の生き物たち

土の中の生き物というと何を思い浮かべますか。よく知られているところで、ミミズ、モグラ、ダンゴムシ。ちょっと考えて、ムカデ、ヤスデでしょうか。それ以外にも、実に多くの動物がいます。例えば、トビムシ、ササラダニ、クマムシ、カマアシムシ・・・。こんな動物を聞いたことがありますか。土の中の動物には、アメーバのような原生動物からモグラの哺乳類までさまざまな動物がすんでいます。多くの動物は大変小さく、また、土の中で生活しているため、直接目で見るとはほとんどありません。

今回の展示では、標本や拡大模型、写真を使って「見たこともない」動物を紹介します。



肉眼で観察できる動物

左上から右下に向かって、ミミズ類、イシムカデ類、ヤスデ類、オカダンゴムシ、ヒメフナムシ、ホソワラジムシ。